CASIO

P

5069＊JA

取扱説明書

5069

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。
本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を本書に記載しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。
なお、この説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

● ホームタイムデータ
（時刻・カレンダーなど）の合わせ方 …… 16

● ストップウオッチ …… 8

● ワールドタイム …… 10

● アラーム …… 14

ご使用になる前に

本機は、電池消耗を少なくするために「秒針を停止した状態」で出荷しています。
ご使用になる前に、いずれかのボタンを押してください。
秒針が動き出します。
※本機の秒針は回転円板（7 ページ参照）です。



安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ **危険**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ **警告**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。
（左の例は感電注意）



⃠ 記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています。
（左の例は分解禁止）



● 記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。
（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）

⚠警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。

※本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

⚠注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

①金属・皮革に対するアレルギー
②時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



⚠注意

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行なってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計着脱の際に、中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

目次

安全上のご注意 1

操作のしくみと表示の見方 6

ストップウオッチの使い方 8

- ストップウオッチモードへの切替え方法 …… 8
- 時刻モードへの切替え方法 …… 9
- 計測のしかた …… 9

ワールドタイムの使い方 10

- 都市のサーチ …… 10
- サマータイムについて …… 11
- ホームタイム都市との入れ替え …… 12
- 都市コード一覧表 …… 13

アラームの使い方 14

- アラーム時刻のセット …… 14
- アラームのON／OFF …… 15
- 鳴っている電子音を止めるには …… 15

ホームタイムデータ
（時刻・カレンダーなど）の合わせ方 16

- 「ホームタイム都市」、
「サマータイム設定」を変更する …… 16
- 「時刻」、「カレンダー」を修正する …… 18

針の基準位置合わせ 21

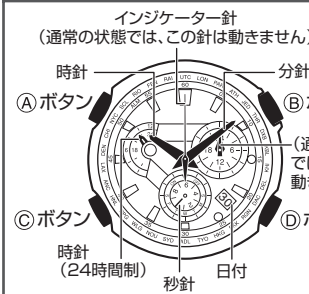
- 製品仕様 …… 24
- ご使用上の注意 …… 26
- お手入れについて …… 29
- 電池交換について …… 30
- 金属バンドの駒詰めについて …… 30

操作のしくみと表示の見方

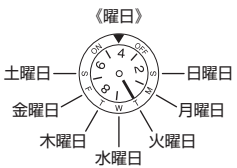
※機種により形状や文字板の印刷内容が異なります。

- ストップウオッチモードへの切替えは Ⓓ ボタンで行ないます。

時刻モード



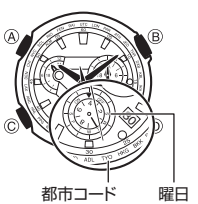
《曜日》



★「ホームタイム都市」と「曜日」の確認

Ⓐボタンを押すと、約3秒間、「インジケーター針がホームタイム都市（都市コード）」を、「秒針が曜日」を指し示します。

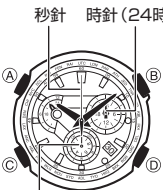
※都市コードについては、13ページをご覧ください。



Ⓓ

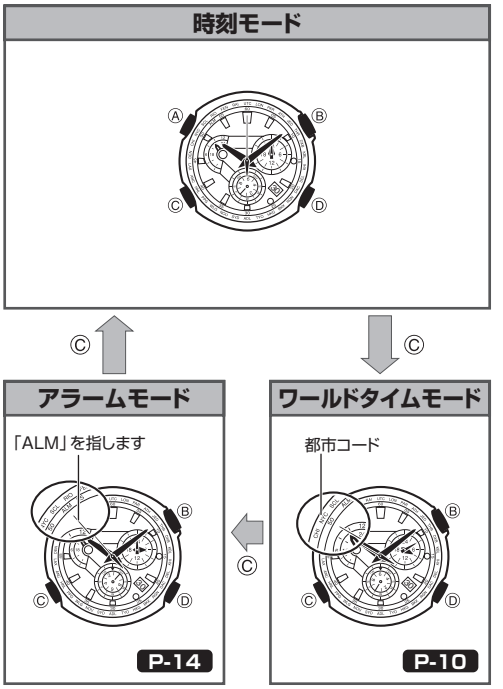
Ⓓ（リセット状態のとき）

ストップウオッチモード



※「時刻モードでⒷボタンを押して、すぐに計測を始める方法」もあります。

P-8



- ストップウオッチモード以外のモードへの切替えはⒸボタンで行ないます。Ⓒボタンを押すごとに、左図のようにモードが切り替わります。

※モード切替え後、約1.5秒経ってから針が動き出して、そのモードの時刻を指し示します。針が動いている間は、他のモードへの切替えだけが行なえます。

※アラームモードで2～3分間何も操作を行なわないと、自動的に時刻モードに戻ります。

- 秒針は回転円板（秒板）です。

※秒板上の太い線が周囲の秒目盛を指して秒を示します。他のモードでは曜日、アラームのON／OFF、DSTのON／OFFを示します。

※秒板上の数字はカレンダーを修正するとき年の一の位を表し、外側の▼で読み取ります。
ストップウオッチモードのとき秒板は、1回転で1秒を表します。1／20秒刻みで動き、外側の▼が示す数字を値として読み取ります。

ストップウオッチの使い方

ストップウオッチは1/20秒単位で23時間59分59秒95（24時間計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。
ストップウオッチモードではインジケーター針が「秒針」になります。

●計測リセット状態
ストップウオッチモードの時針（24時間制）／分針、秒針、1/20秒針が12時位置を指し示している、以下の状態のことです。
- 計測中ではない
- 計測の一時中断中ではない
- 計測値の表示中ではない

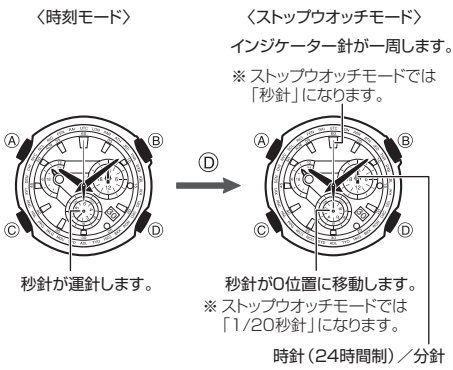
計測リセット状態にするには、「計測中」、「計測の一時中断中」、「計測値の表示中」にⒹボタンを押します。
なお、計測リセット状態でⒹボタンを押すと、時刻モードに切り替わってしまいます。



■ ストップウオッチモードへの切替え方法

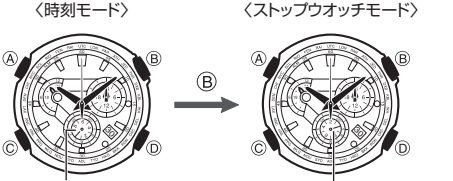
ストップウオッチモードに切り替えるには、2つの方法があります。

●時刻モードのときに、Ⓓボタンを押す
ストップウオッチモードの計測リセット状態（左記参照）になります。
Ⓑボタンを押すと、ストップウオッチの計測が始まります。



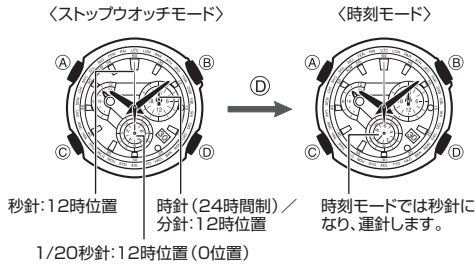
●時刻モードのときに、Ⓑボタンを押す
Ⓑボタンを押すと同時に計測が始まります。
※1秒以内の計測は行なえません。
※以下の状態のときは、時刻モードでⒷボタンを押してもストップウオッチの計測が始まりません。

- 日付の更新中(23:59 59秒～更新が終わるまでの間)
- アラームモードで設定したアラーム時刻の2秒前から、アラーム音が鳴っている間



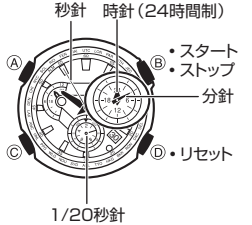
■時刻モードへの切替え方法

計測リセット状態(8ページ参照)で、Ⓓボタンを押します。



■計測のしかた

時刻モードまたはストップウオッチモードで行ないます。





※1/20 秒針は、計測スタートまたは再スタート後の 1 分間のみ動きます。
ストップ後は、計測値を表示します。

※計測中に Ⓓ ボタンを押しても、リセットされます。

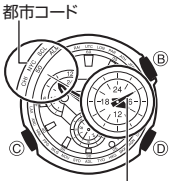
＜積算計測＞

ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずにⒷボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

ワールドタイムの使い方

6ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがいⓒボタンを押し、ワールドタイムモードに切り替えます。

ワールドタイムモードでは、世界29都市（29タイムゾーン）の時刻を調べることができます。



■ご注意■

選択都市の時刻が合っていないときは、ホームタイム都市の設定を確認し、違っているときは正しく直してください。

※ホームタイム都市設定は 16 ページをご覧ください。

■都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき

Ⓓボタンを押します



➡Ⓓボタンを押すごとにインジケーター針が1都市ずつ進みます。

※Ⓓボタンを押してから約1.5秒後にワールドタイム針の時刻が選択都市の時刻にかわります。
なお、時刻を表示する（針が止まる）までに時間がかかる場合があります。

※選んだ都市の時刻を表示するために針が動いている間は、「Ⓒボタンを押して他のモードに切り替える」以外の機能は働きません。

■サマータイムについて

サマータイムとはDST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻（スタンダードタイム）から1時間進める夏時間制度のことです。

●サマータイムを採用していない国や地域があります。

●サマータイムを採用していても、その期間は国や地域により異なります。

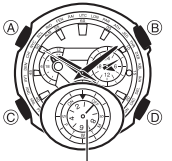
● ON サマータイムはONに設定されていて、スタンダードタイムより1時間進んでいます（夏時間）。
● OFF サマータイムはOFFに設定されています（スタンダードタイム）。

●サマータイムのON／OFF確認

ワールドタイムモードのとき

Ⓐボタンを押します

➠秒針が、約3秒間、サマータイムの現在の設定を指し示します。



「ON」または
「OFF」を指します

●サマータイムのON／OFF設定

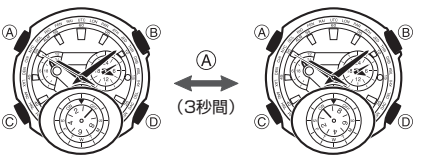
ワールドタイムモードのとき

Ⓓボタンを押して、設定したい都市を選びます

Ⓐボタンを約3秒間押し続けます

➠Ⓐボタンを約3秒間押し続けるごとに、確認音が鳴り、サマータイムのON／OFFが切り替わります。

※サマータイムは各都市ごとに設定することができます。ただし、“UTC”にはサマータイムの設定はできません。なお、“ホームタイム都市”に設定されている都市のサマータイムの設定を変更した場合は、時刻モードの時刻もここでの設定にあわせて修正されます。



■ ホームタイム都市との入れ替え

現在ワールドタイムモードで選んでいる都市を、ホームタイム都市と入れ替える（ホームタイム都市に設定する）ことができます。

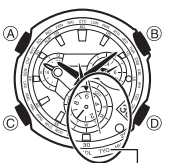
例：ホームタイム都市をニューヨーク（NYC）から東京（TYO）に設定する。

	ホームタイム都市	ワールドタイムモードでの都市
操作前	ニューヨーク(NYC)	東京(TYO)
操作後	東京(TYO)	ニューヨーク(NYC)

1. 都市を選ぶ

ワールドタイムモードのとき

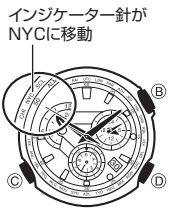
Ⓓボタンを押して、設定したい都市を選びます



TYOを選ぶ

2. ホームタイム都市を入れ替える

Ⓑボタンを約3秒間押し続けます



➡確認音が鳴り、*1.* で選んだ都市（東京）がホームタイム都市になります。

※ 操作を行なう前のホームタイム都市（ニューヨーク）がワールドタイムモードの選択都市になり、ワールドタイムモードの時刻が修正されます。

■ご注意■

日本でお使いの場合は、必ずホームタイム都市を「TYO」に設定してください。

■都市コード一覧表

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
UTC		〈協定世界時〉	ADL	+9.5	アデレード
LON	0	ロンドン	SYD	+10	シドニー
PAR	+1	パリ	NOU	+11	ヌーメア
ATH	+2	アテネ	WLG	+12	ウェリントン
JED	+3	ジェッダ	PPG	−11	パゴパゴ
THR	+3.5	テヘラン	HNL	−10	ホノルル
DXB	+4	ドバイ	ANC	−9	アンカレジ
KBL	+4.5	カブール	LAX	−8	ロサンゼルス
KHI	+5	カラチ	DEN	−7	デンバー
DEL	+5.5	デリー	CHI	−6	シカゴ
DAC	+6	ダッカ	NYC	−5	ニューヨーク
RGN	+6.5	ヤンゴン	SCL	−4	サンティアゴ
BKK	+7	バンコク	RIO	−3	リオデジャネイロ
HKG	+8	香港	FEN	−2	フェルナンドデノロニャ
TYO	+9	東京	RAI	−1	プライア

※この表は 2008 年 6 月現在作成のものです。
※この表の時差は協定世界時(UTC)を基準としたものです。
※各国の時差やサマータイムは、その国の都合により変更になることがあります。

アラームの使い方

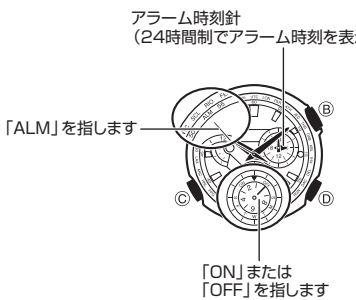
6ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい**Ⓒ**ボタンを押し、アラームモードに切り替えます。

アラームモードでは時分を設定でき、設定した時刻になると 10 秒間電子音が鳴ります。

※アラームは時刻モードの時刻に合わせて鳴ります。

※アラームモードで2～3分間何も操作を行なわないと、自動的に時刻モードに戻ります。

※アラーム時刻を表示するために針が動いている間は、「Ⓒボタンを押して他のモードに切り替える」以外の機能は働きません。

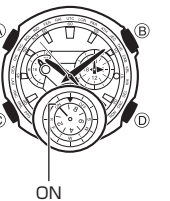


■アラーム時刻のセット

1. セット状態にする

アラームモードのとき

Ⓐボタンを約3秒間押し続けます



➠確認音が鳴ってアラームが自動的にONになり、秒針が ON の位置に移動します。

※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。
なお、セット状態が解除されるまでに行なった変更は保持されます。

2. セットする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



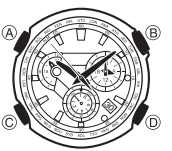
➡ Ⓓ ボタンを押すごとに 1 分ずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに 1 分ずつ戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも押し続けるとボタンを離しても針が連続して動き続ける早送り状態になります。
早送り状態を止めるにはいずれかのボタンを押します。

※ アラーム時刻針は、24 時間制でアラーム時刻を表示します。セットする時刻の午前と午後を間違えないように、ご注意ください。

3. セットを終了する

Ⓐ ボタンを押します

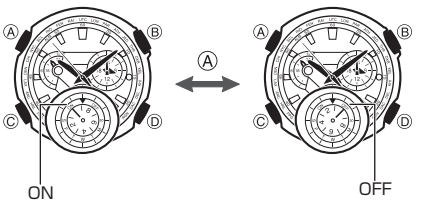


■ アラームの ON ／ OFF

アラームモードのとき

Ⓐ ボタンを押します

➡ Ⓐ ボタンを押すごとに、ON と OFF が切り替わります。



■鳴っている電子音を止めるには

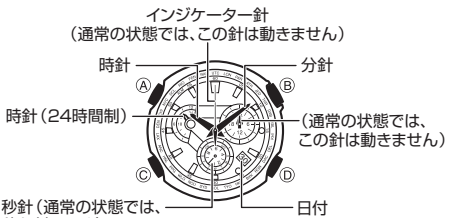
いずれかのボタンを押すと音が止まります。

ホームタイムデータ(時刻・カレンダーなど)の合わせ方

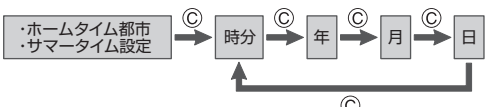
ホームタイムデータ（お使いになる地域や都市、時刻、カレンダーなど）を設定します。

※ホームタイムデータの設定や修正は、時刻モードで行ないます。

〈時刻モード〉



※修正できる項目は、Ⓒ ボタンを押すごとに、以下の順で切り替わります。項目が切り替わるときに確認音が鳴ります。

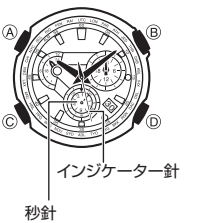


■「ホームタイム都市」、「サマータイム設定」を変更する

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓐボタンを約3秒間押し続けます



➡確認音が鳴り、インジケーター針がホームタイム都市の都市コードの位置に移動し、秒針がサマータイムの現在の設定を指し示します。

※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。
なお、セット状態が解除されるまでに行なった変更は保持されます。

2. ホームタイム都市を選ぶ

Ⓓボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとにインジケーター針が1都市ずつ進みます。



3. サマータイムを設定する

Ⓑボタンを押します

➡Ⓑボタンを押すごとにサマータイムの設定が切り替わります。



● ON サマータイムはONになり、スタンダードタイムより1時間進みます（夏時間）。
● OFF サマータイムはOFFになります（スタンダードタイム）。

※ 続けて、「時刻、カレンダーを修正する」場合は、18ページの手順2に進んでください。
ただし、「時刻、カレンダーを修正する」操作に入ると、「ホームタイム都市、サマータイム設定を変更する」状態に戻ることはできません。
Ⓐボタンを押してセット状態を解除して、16ページの手順1から操作をやり直してください。

4. セットを終了する

Ⓐボタンを押します

➡セット状態が解除されて、変更した設定に対応した時刻に修正されます。
秒針は、時計内部で刻み続けていた秒の値から動き始めます。

■「時刻」、「カレンダー」を修正する

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓐボタンを約3秒間押し続けます

➡確認音が鳴り、インジケーター針がホームタイム都市の都市コードの位置に移動し、秒針がサマータイムの現在の設定を指し示します。

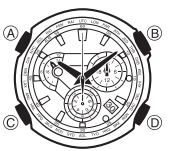


※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。
なお、セット状態が解除されるまでに行なった変更は保持されます。

2. 「時刻」、「カレンダー」を修正する状態にする

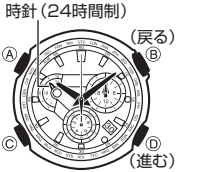
Ⓒボタンを押します

➡インジケーター針が12時位置に移動し、秒針が0位置に移動します。



3. 時分を修正する

ⒹまたはⒷボタンを押します



➡Ⓓボタンを押すごとに1分ずつ進み、Ⓑボタンを押すごとに1分ずつ戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑボタンとも押し続けるとボタンを離しても針が連続して動き続ける早送り状態になります。
早送り状態を止めるにはいずれかのボタンを押します。

※ 時を合わせるときは、時針（24時間制）にもご注意ください。

※ 続けて手順4以降で「カレンダーを修正する」場合は、「カレンダー修正の操作に必要な時間」をあらかじめ加えた時刻に合わせてください。

※ 時分の修正だけを行なう場合は、修正後、Ⓐボタンを押してください。
セット状態が解除され、秒針が0秒から動き始めます（時報に合わせて押すと、正確に合わせられます）。

4.「年修正」にする

Ⓒボタンを押します

➡年を修正する状態になります。

※ 年は、西暦の「十の位」と「一の位」を設定します。

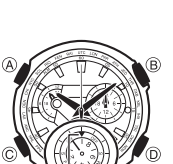


5.年を修正する

Ⓓおよび Ⓑボタンを押します

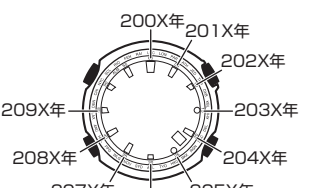
➡Ⓓ ボタンを押すごとに、「一の位」が 1 つずつ進みます。

▼印が示す数字が「一の位」です。





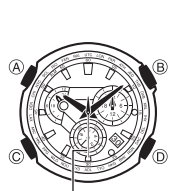
➡Ⓑ ボタンを押すごとに、「十の位」が 1 つずつ進みます。



6.「月修正」にする

Ⓒボタンを押します

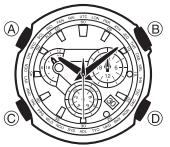
➡月を修正する状態になります。

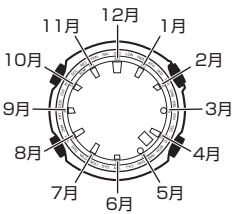


7. 月を修正する

Ⓓボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに、1 つずつ進みます。

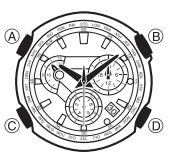




8. 「日付修正」にする

Ⓒボタンを押します

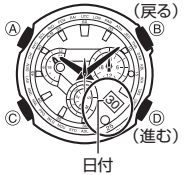
➡日付を修正する状態になります。



9. 日付を修正する

ⒹまたはⒷボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに1日ずつ進み、Ⓑボタンを押すごとに1日ずつ戻ります。



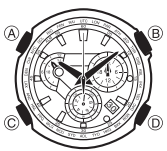
10. セットを終了する

Ⓐボタンを押します

➡セット状態が解除され、秒針が 0 秒から動き始めます。

※ 時報に合わせて押すと、正確に合わせられます。

※ 曜日は自動的に算出されます。



日付は、うるう年および小の月を自動修正します。

針の基準位置合わせ

正しい時刻に合わせても針の位置が合っていないときは、以下の操作を行なって針の基準位置を確認してください。針の基準位置がずれているときは、位置を修正してください。なお、正しい時刻に合わせても針の位置が合っていないとき以外は、この操作を行なわないでください。

1. 基準位置確認状態にする

時刻モードのとき

Ⓐボタンを押しながら Ⓒボタンを約3秒間押し続けます

➡確認音が鳴り、インジケーター針と秒針が基準位置に移動します。



〈基準位置〉
インジケーター針：12時位置
秒針：0位置

★インジケーター針と秒針が基準位置にある場合は、手順 *3.* に進みます。

※針の基準位置確認状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。
なお、セット状態が解除されるまでに行なった変更は保持されます。

インジケーター針と秒針がずれている場合

2. 基準位置を合わせる

インジケーター針の場合は

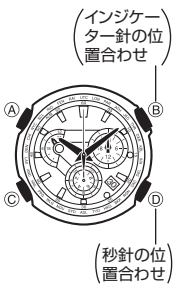
Ⓑボタンを押します

秒針の場合は

Ⓓボタンを押します

➡針が時計回りで回転しますので、基準位置に合わせます。

※ Ⓑ·Ⓓ ボタンとも押し続けるとボタンを離しても針が連続して動き続ける早送り状態になります。早送り状態を止めるには、いずれかのボタンを押します。



3. 時・分針と時針（24時間制）を確認する

Ⓒボタンを押します

➡時･分針と時針(24時間制)が基準位置に移動します。

〈基準位置〉
時針：12時位置
分針：12時位置
時針(24時間制)：24時位置



★時・分針と時針（24時間制）が基準位置にある場合は、手順 5. に進みます。

時針と分針がずれている場合

4. 基準位置を合わせる

ⒹまたはⒷボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります。



※ Ⓓ･Ⓑボタンとも押し続けるとボタンを離しても針が連続して動き続ける早送り状態になります。早送り状態を止めるには、いずれかのボタンを押します。

※ 時針(24時間制)は時･分針に連動して動きます。

5. ストップウオッチ時・分針を確認する

Ⓒボタンを押します

➡ストップウオッチ時･分針が基準位置に移動します。

〈基準位置〉
ストップウオッチ時針：24時位置
ストップウオッチ分針：24時位置



★ストップウオッチ時・分針が基準位置にある場合は、手順 7. に進みます。

ストップウオッチ時･分針がずれている場合

6. 基準位置を合わせる

ⒹまたはⒷボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります。



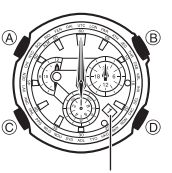
※ Ⓓ･Ⓑボタンとも押し続けるとボタンを離しても針が連続して動き続ける早送り状態になります。早送り状態を止めるには、いずれかのボタンを押します。

7. 日付を確認する

Ⓒボタンを押します

➡日付が基準位置に移動します。

〈基準位置〉
日付：1日



★日付が基準位置にある場合は、手順 *9.* に進みます。

日付がずれている場合

8. 基準位置を合わせる

ⒹまたはⒷボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります。



※ Ⓓ·Ⓑボタンとも押し続けるとボタンを離しても針が連続して動き続ける早送り状態になります。早送り状態を止めるには、いずれかのボタンを押します。

9. 基準位置合わせを終わる

Ⓐボタンを押します

➡時刻モードに戻り、通常の時刻を表示します。

※ Ⓐボタンを押さずにⒸボタンを押すと、最初のインジケーター針と秒針の基準位置確認に戻ります。



針の基準位置合わせが終了したら、18ページの「『時刻』、『カレンダー』を修正する」をご覧になり、時刻を修正してください。

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz

精　　度：平均月差±20秒以内

基本機能：時･分（10秒運針）、秒、24時間制、日付
「ホームタイム都市／曜日」表示機能

ストップウオッチ機能：計測単位＝1/20秒
計測範囲＝23時間59分59秒95
（24時間計）
計測機能＝通常計測、積算計測

ワールドタイム機能：世界29都市（29タイムゾーン）の時刻を表示、サマータイム設定機能

アラーム機能：セット単位＝時・分
電子音＝10秒間

そ の 他：自動復帰機能

主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子、
ワンチップCMOS-LSI

使用電池：SR927W　1個（電池別途販売）

持続時間：約2年
（1日あたり電子音10秒間使用した場合）


memo

ご使用上の注意

■防水性

● 防水時計は時計の表面または裏蓋に「WATER RESIST」「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

		日常生活用防水	日常生活用強化防水		
			5気圧防水	10気圧防水	20気圧防水
表示	時計の表面または裏蓋に表記	「BAR」表記無し	5BAR	10BAR	20BAR
使用例	洗顔、雨	○	○	○	○
	水仕事、水泳	×	○	○	○
	ウインドサーフィン	×	×	○	○
	スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

※ 専門的な潜水＝スキューバダイビング（空気ボンベ使用）でのご使用はお避けください。

● 時計の表面または裏蓋に WATER RESIST または WATER RESISTANTと表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

● 防水構造の機種でも水中や、水分のついたまま、りゅうずやボタンの操作をしないでください。

● 防水構造の機種でも、時計をつけたままの入浴、洗剤等（石鹸・シャンプーなど）のご使用をお避けください。防水性能を低下させる原因となります。

● 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。

● 防水性を保つために定期的（2～3年を目安）なパッキン交換をおすすめします。

● 電池交換の際、防水試験を行ないますので、必ずお買い上げの販売店あるいは最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にお申し付けください（特殊な工具を必要とします）。

● 防水時計の一部にデザイン上、皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

● 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。曇りが消えなかったり、水が時計内部に浸入した場合は、そのままご使用にならず、ただちに修理することが必要です。

● 時計内部に浸入した水は、電子部品や機械、文字板などを破損する原因となります。

■バンド

● バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

● バンドは劣化やさび（錆）などにより切れたり外れたりする場合があり、時計の落下や紛失の原因となります。バンドは、常にお手入れしていただき、清潔にご使用ください。
バンドに弾力性がなくなったり、ひび割れ・変色・緩みなどがある場合は、お早めに点検・修理（有償）または新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にバンド交換（有償）をお申し付けください。

■温度

● 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。

■ショック

● 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。
ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/Baby-G/G-ms）は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。

■磁気

● アナログ時計やコンビネーション（アナログとデジタル）時計は、針を動かすために磁石の性質を利用したモーターを駆動させる方式を採用していますが、このモーターは強い磁気（オーディオ機器のスピーカー、磁気ネックレス、携帯電話など）を発生する器具に近づけるとモーターの回転に影響を受け、針の「遅れ・進み・止まり・誤った時刻表示」などの原因となります。

■静電気

● 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。

■薬品類

● シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

● 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■樹脂製品について

● 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂製品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
● 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
● 塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
● バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
● 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
● スケルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
● 樹脂部品の交換は、最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にお申し付けください。有償にて申し受けます。

■天然皮革・合成皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が天然皮革や合成皮革に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。

ご注意：天然皮革・合成皮革は、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■金属製品について

- 金属を使用した製品・バンドは、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さび（錆）が発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などで良く拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、良く乾燥させてください。
- バンドは、時々、柔らかい歯ブラシなどにより、中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水でバンドを洗って、良く手入れをしてください。このとき、時計の本体にかからないようご注意ください。

■抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■お手入れのしかた

- ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚したり、皮膚がかぶれたり時計の性能が劣化することがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとさび易くなります。
- 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また布等で簡単にふきとることができます。
- 皮革バンドは乾いた布で軽く拭くなどして常に清潔にしてご使用ください。樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。
- バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても有償にて申し受けます。
- 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

■お手入れを怠ると

〈さび（錆）〉

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
  ※汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

- 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

- 電池交換は必ずお買い上げの販売店または最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行ないます（防水検査は別途有償となります）。

■最初の電池

- お買い上げの時計に組み込まれている電池（モニター用電池）は、工場出荷時点に時計の機能や性能をチェックするために組み込まれたものです。
- お客様がお買い上げになるまでの期間に電池は消耗しますので、モニター用電池は取扱説明書などに記載されている電池寿命に満たない場合があります。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。

■電池の消耗

- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンドの駒詰めには専用の工具が必要となります。
お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはケガ等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。
なお、カシオテクノ・サービスステーションにおいても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。
詳しくは、最寄りのカシオテクノ・サービスステーションまたはカシオテクノ修理相談窓口へお問い合わせください。